

# 芸術人類学の扉を開く

芸術人類学は、ホモ・サピエンスが生み出した旧石器時代の洞窟壁画から現代の多様化する芸術実践まで、多種多様なアートの様態を探究しています。また、特定のメディアや技法を分析する方法論を超えて、自然と人間の関係を深く考察し、世界に働きかけて新たな現実をつくり出そうとする、異業種の実験的なコラボレーションを試みています。本講義では、「芸術」と「人類学」という二つの概念の複合によって、新たな知と表現の地平を切り拓く芸術人類学の方法を具体的な事例とともに紹介します。

日時：2022年11月1日（火）～11月30日（水）

講師：石倉 敏明 氏（秋田公立美術大学准教授）

期間限定配信どなたでもご視聴いただけます。

- ① <https://commons.i.muc.meiji.jp/em/633852f934ec2>
- ② <https://commons.i.muc.meiji.jp/em/633854f82b75a>
- ③ <https://commons.i.muc.meiji.jp/em/633854788d2f0>
- ④ <https://commons.i.muc.meiji.jp/em/63385bd9aa16>

## 講師プロフィール：石倉敏明（Ishikura Toshiaki）

1974年東京生まれ。秋田公立美術大学複合芸術研究科・美術学部准教授。シッキム、ダーズリン丘陵、ネパール、東北日本等でフィールド調査を行ったあと、環太平洋地域の比較神話学や非人間種のイメージをめぐる芸術人類学研究を行う。美術作家・音楽家らとの共同調査や制作活動も行ってきた。2019年、第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際芸術祭日本館展示「Cosmo-Eggs | 宇宙の卵」に参加。著書に『野生めぐり 列島神話の源流に触れる12の旅』（田附勝との共著）、『Lexicon 現代人類学』（奥野克巳との共著）など。

